

※ 音の出ているものにそっと手をふれ、音を止めたり出したりする。

- トライアングル、シンバル、太鼓、鉄琴、音又、コップなど

例2 音の出るひみつをさぐる。

(1) ふくらんだゴム風船の口をあげて音を出す。

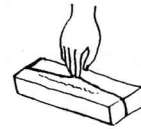
(2) 音の出ているものを口で感じ取る。

- 紙笛、ストロー笛、竹笛、ゴムなど

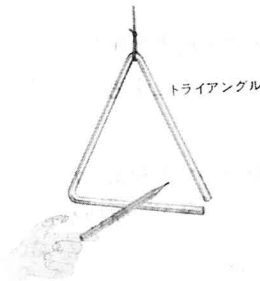
※ 音の出ている時の唇の感じや舌先で触れた感じを發表させる。

(3) 音の出ているものを目で見えるように工夫して調べる。(図3、4)

※ 笛は逆にくわえ、吸ってリードの様子を見たり、指先で触れたりして調べさせる。

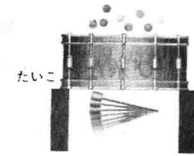


(図2)



えんぴつをそっとあてる

(図3)



(図4)

(東書)

身近にあるいろいろな物を使って音を作り出す工夫をしながら、活動する楽しさを味わわせる。

例1 笛を作って遊ぼう。

(1) 草笛

- マサキやササの葉をまるめて

※ ややかための葉が音が出やすい。

- 葉を両手ではさんで

- 葉を折り曲げて
- 葉を2枚重ねて

(2) 竹笛(図5)



(図5)

※ ウツギの枝とその表皮を使ってもできる。

(3) ストロー笛(図6)



平たくして
両側を切る

(大日本区書)

(4) 紙笛(図7、8)

①



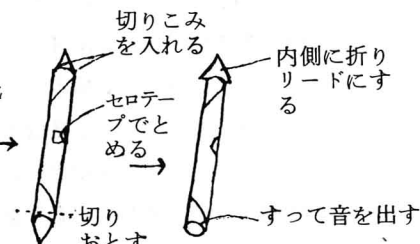
(図7)

②

正方形の薬包紙や
キリン紙



かどからまるめていく



(図8)

例2 ことを作って遊ぼう。(図9、10)



(図9)



(図10)

例3 音の出るおもちゃを作ろう。(図11)

ふり回して音を出す



(図11)

(大日本区書)